

心理 平成26年4月採用

大分県こども・女性相談支援センター
(中央児童相談所) 山本 史織

子ども一人ひとりに寄り添える
心理士を目指したい



現在の仕事内容は？

虐待や非行、知的障害や発達障害など、様々な問題やハンデを抱えた子どもに対して、心理面接や心理検査などを行い、その子どもに合った支援方法を考えていくことが主な業務です。児童福祉司、一時保護所職員とのチームでの支援が基本となり、他にも学校、施設、里親、医療機関など、外部機関との連携が重要な職場です。また、心理職として、関係者に分かりやすく子どもの状態や気持ちを伝えていくことも、大切な仕事なので、日々工夫をするよう心がけています。

仕事のやりがい・魅力について

児童相談所で関わった子どもたちが、その後笑顔で元気に生活している姿を見られることが、一番の魅力だと感じています。そこにたどり着くために、子どもを中心としたチーム全員で解決に向かっていく過程に、やりがいを感じます。

大分県を志望した理由は？

前職で子どもと関わる仕事をしていた時、その子の努力だけでは解決できない、難しい問題を抱えている子どもに出会いました。困難を抱える子どもや家族に対して、何かお手伝いができないかと思い、県を志望しました。

仕事と私生活の両立について

入庁当初、仕事と私生活の切り替えができず、仕事のことが頭から離れないまま朝を迎えることもありましたが、現在は、友人と過ごすなど帰宅後の時間を楽しめるようになり、毎日爽やかな気分で目覚めています。

これからの目標は？

大分県は「子育て満足度日本一」を目指しています。子どもを中心とした家族全員が笑顔で過ごせることを目標として、その家族に合った支援を考え、チームで協同して実践していけるような仕事をしていきたいです。

～メッセージ～

心理職としての専門性を生かしつつ、多くの県民と関わることのできる仕事です。大変なことも多いですが、先輩達が色々教えてくれるので安心してください。一緒に働ける日を、楽しみにしています。



ある1日のスケジュール

- 8:30 出勤、メールチェック
- 8:40 一時保護所児童の様子確認、面接準備
- 9:30 方針検討会議（一時保護児童の処遇先を検討）
- 10:00 通所児童の面接（知能検査など心理検査を実施）
- 12:00 昼休み
- 13:00 小学校訪問。地域の市や小学校と個別ケース検討会議
- 16:00 緊急一時保護児童受け入れ会議
- 17:00 児童福祉司、一時保護所職員との三者協議
- 17:15 退庁